

EMAの状況と今後について

2019年2月25日
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
事務局

1 EMA解散について

2008年4月8日 EMA(一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構)設立

●アクセス制限対象カテゴリ選択基準に関する意見書

性同一障害の相談サイト等がブロッキングされているオーバーブロッキングを改善するために、通信事業者
に勧告

●青少年の利用に配慮したサイトの運用管理体制を審査・認定

フィルタリング普及のため、青少年保護と利便性を両立するために、認定されたサイトは、フィルタリングの対象
外となる制度を運用。

2012年7月 スマートフォンの普及を受け、アプリに対しても対象を拡大

●認定制度を補完する制度として、カスタマイズ機能を普及させるため、青少年が 利用するサイトについての情報提供を行う方針を決定

●アップル社 iOS 11 の青少年保護機能で、我が国の出会い系サイト等の利用制 限を実現

●2018年5月31日

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構(EMA) 解散

2 EMA解散後の状況

解散時点で認定中の事業者は希望に基づき1年間認定更新

<http://www.ema.or.jp/evaluation/community/index.html>

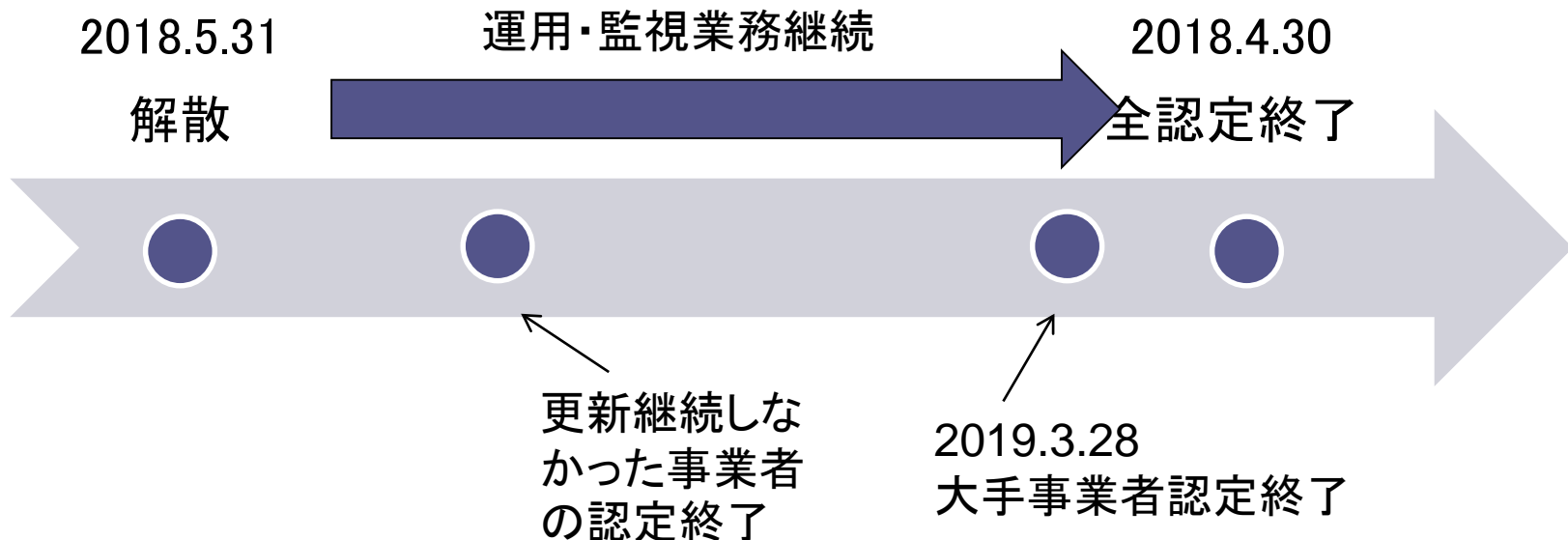
清算法人であるEMAにおいて、運用・監視業務は継続

運用・監視委員会は任務継続

原則 2019年4月30日まで認定継続

(新たな認定は行わないが、従来の体制は継続中)

次の体制への移行のための猶予期間



3 今後について

- フィルタリングにおけるカスタマイズ機能向上と情報提供制度の運用
- 日本文化に基づき青少年を保護するため、国際年齢評価連合 (IARC) への参加
- グローバルプラットフォームでのフィルタリング基準等へ我が国の文化を反映する取り組み
- フィルタリング以外の機能とのバランスをとった施策の実施